



国民春闘共闘

第38号

2015年8月12日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015 夏季一時金・第4回集計（最終）

単純 63.2 万円・1.88 ヶ月 加重 65.7 万円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7日、第4回目となる2015年夏季一時金最終集計を行い、26単産・部会572組合から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2015年	2014年
登録組合数	741	763
回答組合数	572 (77.2%)	602 (78.9%)
うち上積み獲得	139 (24.3%)	164 (27.2%)
うち妥結組合数	414 (72.4%)	461 (76.6%)

<回答内容>（月数および金額）

集計方法&対象		2015年	2014年（同期）	（前年比）
単純平均	月数	1.88	1.87	+0.01
	額（円）	632,384	631,348	+1,036
加重平均	額（円）	656,861	689,175	-32,314
	組合員数（人）	157,963	165,358	

*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

<前年実績と比較可能な組合における回答状況（金額での比較）>

	2015年	2014年
前年との比較が可能な組合数	265	281
うち前年額以上の組合	175 (66.0%)	189 (67.3%)
（前年超）	156	170
（同 額）	19	19

<前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	金額・月数	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	265	656,899	643,923	+12,976
	月数	470	1.89	1.87	+0.02

〈集計結果の概要〉

回答引出し状況

2015年夏季一時金の第4回目となる最終集計は、別表の26単産・部会での集計となりました。登録741組合のうち77.2%にあたる572組合が回答を引き出しています。回答引出し率は、前回調査（7月10日時点：60.4%）から16.8%上昇したものの、前年同期（2014年8月7日時点：78.9%）を1.7%下回りました。

単産・部会別にみると、回答引出し率100%は建交労・鉄道、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、外銀連の5単産・部会となっています。続いて、9割台が通信労組（92.9%）、生協労連（92.2%）の2単産・部会。8割台が特殊法人労連（88.9%）、民放労連（88.5%）、全農協労連（87.5%）、化学一般労連（87.5%）、日本医労連（86.8%）、出版労連（86.1%）、JMIU（86%）、合同繊維（83.3%）、建設関連労連（81.8%）、映演労連（81.8%）、金融労連（80%）の11単産・部会。7割台が全印総連（76.5%）、建交労・運輸（73%）、地方マスコミ（71.4%）の3単産・部会となっています。

規模別にみると、1000人以上（94.1%）、300～999人（88.3%）、100～299人（85%）、30～99人（76.1%）、29人以下（64.2%）と、昨年同様に規模が大きくなるにつれ回答引き出し率が高くなっています。

回答引出し組合のうち、春闘期に一時金交渉を行った組合も含め、数字にわたる上積み回答を引き出したのは139組合・24.3%で、前年同期（164組合・27.2%）を25組合・2.9%下回りました。

最高次数は民放労連の組合での9次回答（前年同期0組合）で、6次回答・1組合（同2組合）、5次回答・4組合（同2組合）、4次回答・12組合（同11組合）と続いています。

全体の回答内容

月数回答のあった512組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は1.88ヵ月で、前回調査（7月10日時点）から0.05ヵ月減となっています。前年同期との比較では0.01ヵ月増とほぼ前年並みの水準にとどまっています。

最高月数は出版労連の2組合での5ヵ月分となっています。月数回答組合の45.1%にあたる231組合（前年同期：249組合・43.8%）が2ヵ月以上の回答を引き出し、うち31組合（前年同期49組合）が3ヵ月以上を獲得しています。

金額回答のあった314組合での単純平均額（一組合あたりの平均）は632,384円となっています。前回調査から13,740円減となりましたが、前年同期からは1,036円の微増となっています。

加重平均（組合員一人あたりの平均）は656,861円で、前回調査比12,554円減、前年同期比32,314円減となっています。

金額回答のあった組合のうち100万円以上の高額回答を引き出した組合は26組合（前年同期26組合）で、そのうち9組合（同9組合）が150万円以上を勝ち取っています。最高額は出版労連の組合での2,629,505円となっています。

単産・部会別、規模別での傾向

単産・部会別にみると、外銀連での平均3.4ヵ月をはじめ、民放労連（2.97ヵ月）、映演労連（2.64ヵ月）、全倉運（2.44ヵ月）、出版労連（2.41ヵ月）、通信労組（2.37ヵ月）、地方マスコミ（2.35

ヵ月)、JMIU (2.17 ヲ月)、化学一般労連 (2.04 ヲ月)、全労連・全国一般の製造 (2 ヲ月) 特殊法人労連 (1.98 ヲ月) が全体平均以上となっています。

また、民放労連、出版労連が産別平均で 100 万円以上となっているのをはじめ、通信労組、映演労連、地方マスコミが単純・加重額ともに全体平均額以上となっています。

規模別にみると、29 人以下 (単純平均 2.06 ヲ月)、30~99 人 (同 1.94 ヲ月)、100~299 人 (同 1.80 ヲ月)、300~999 人 (同 1.72 ヲ月)、1000 人以上 (同 1.84 ヲ月) と中小規模組合での奮闘が伺える結果となっています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での対比可能な 265 組合での単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は 656,899 円で、前年実績 643,923 円を 12,976 円上回っています。引上げ率は 2.02%となっています。

対比可能 265 組合のうち、66%にあたる 175 組合が前年実績額以上の回答を引き出し、うち 156 組合は前年実績額を越す回答を勝ち取っています。

月数で同一組合対比可能な 470 組合の単純平均月数は 1.89 ヲ月で、前年実績 1.87 ヲ月を 0.02 ヲ月上回っています。このうち前年実績超は 155 組合・33% (前年同期 165 組合・30.8%) で、226 組合・48.1% (同 262 組合・49%) が前年同月数となっています。

比較可能な同一組合での回答状況は、6 月 5 日に行った第 1 回調査から前年実績比プラスを維持し推移しました。

妥結状況

回答を引き出した 572 組合のうち妥結したのは 414 組合 (妥結率 72.4%) で、(前年同期 461 組合・76.6%) を 4.2 ㊦下回っています。

全体でみると、建交労・鉄道、検数労連、全倉運、外銀連では全登録組合で妥結していますが、4 割強の組合が交渉を継続している状況にあります。金融労連のさわやか信金従組で、前年比を若干上回る 3 次回答を引き出すも、ローン返済などでお金が必要な組合員には臨給闘争資金を活用するなどして支給日を越えて交渉を継続し 4 次回答を引き出すなど、各組織が生活改善に資する回答を求め粘り強くたたかっていることが伺えます。

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の夏季一時金獲得は、別表の 9 単産 178 組合で 276 件の成果獲得となっています。報告単産数が減っていることもあり、前年同期 (2014 年 8 月 7 日時点 : 11 単産 211 組合 313 件) を 33 組合・37 件下回っています。

このうち、パートやアルバイト (再雇用・継続雇用で働く仲間を除く) などを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、生協労連 (74 件)、日本医労連 (64 件)、全労連・全国一般 (18 件)、JMIU (5 件)、全印総連 (4 件) の計 5 単産・165 件となっています。

金額報告のあった 44 件での単純平均額は 51,126 円で、前年同期 (65 件平均 45,901 円) を 5,225 円上回っています。月数では、135 件の単純平均で 0.729 ヲ月と前年同期 (147 件平均 0.785 ヲ月) から 0.056 ヲ月下回しました。

日給制で働く仲間の一時金獲得は、建交労での 2 件で単純平均額は 225,994 円となっています。

月給制（臨時・準職員・契約社員など）で働く仲間の一時金獲得は、7単産で85件の成果を獲得しています。回答水準をみると、金額では173,689円（25件平均）、月数では0.926ヵ月（63件平均）となっています。同一組合での前年実績比をみると6,904円増・0.043ヵ月増となっています。

また、再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金獲得は、5単産から24件（時給制8件、月給制16件）の報告が寄せられています。

時給制では単純平均5,000円（2件）・0.511ヵ月（6件平均）、月額では78,273円（11件平均）・1.925ヵ月（4件平均）となっています。

<参考> 他団体の夏季一時金集計結果

●連合の夏季一時金（7/2公表）は以下のとおりです。

金額（円）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2015年	前年実績	2015年	前年実績
2,022	124.2	732,854	685,228	516,898	505,262

月数（ヵ月）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2015年	前年実績	2015年	前年実績
2,844	190.2	2.37	2.25	2.03	2.06

●日本経団連の夏季一時金妥結集計（大手企業＝7/30現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業	加重平均額		単純平均額	
		2015年	前年同期	金額	前年同期
大手企業	140社	892,138	867,731	757,171	735,567

※集計対象は東証一部上場、従業員500人以上の企業

※前年同期は、2014年7月31日付の最終集計結果

まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定